

2017年12月14日

京王プラザホテル ニュースリリース

 京王プラザホテル フィーチャー100
 ～おもてなしの裏側にある、ちょっといい話～

京王プラザホテル（東京：西新宿、社長：山本護）は、2021年に開業50周年を迎えます。そこで、世界各国からお客様をお迎えし、心に寄り添うサービスを提供するホテルとして私たちのおもてなしに秘められたエピソードを100回シリーズでお届けしてまいります。

■VOL. 19 和テイスト香る2つのアフタヌーンティー

京王プラザホテルでお楽しみいただけるアフタヌーンティーは、ほかにはない和の要素を取り入れたスタイルが魅力です。本館3階アートラウンジ〈デュエット〉の『午後の宝石箱』は三段重を宝石箱に見立てた演出のお箸でお召し上がりいただく現代的なアフタヌーンティー。月ごとにテーマを替えた季節感あふれるメニューはスイーツだけでなくお食事系も充実していますので、ランチとしてもおすすめです。セットのドリンクも約40種からお好きなだけどうぞ。また本館45階スカイラウンジ〈オーロラ〉でお楽しみいただけるのは、コスモポリタン&オリエンタルをテーマとした英国式のアフタヌーンティー。約30種からお好きなだけお選びいただけるドリンクの1杯目は、パリやニューヨークでも高い評価を得ているアリタポーセリンラボのカップをご用意します。スカイブルーやシルバーなどの有田焼に映える、目にも嬉しいスイーツやサンドウィッチ、スコーンなどを、地上160mからの美しい眺望とともにごゆっくりどうぞ。2つのラウンジで味わう優雅なティータイム。和モダンなテイストがとっておきの午後を演出します。


■ VOL. 20 「ジャパニーズ・モダン」を今に伝えるインペリアルスイートルーム

1971年、日本初の超高層ホテルとして開業した京王プラザホテル。「世界に誇れる“日本”のホテルを創る」という構想のもと、インテリアの総合プロデューサーとしてホテル全体のデザインの指揮をとったのが、「ジャパニーズ・モダン」の礎を築いた伝説のデザイナー剣持勇氏でした。なかでも剣持氏自ら室内設計のすべてを手がけたのが、現在も当時のままに残されている本館41階のインペリアルスイートルームです。数寄屋造りを思わせる内装のテクスチャー直線的な格調あるデザインでありつつ和を感じさせる調度品の数々、モダンな色彩感覚…。後に天童木工の最高級シリーズとして知られるようになった三方留め構造の応接セット「7093番」など、自らデザインした家具や照明を贅沢に配した室内には、今なお新鮮な感動を呼ぶ「ジャパニーズ・モダン」の美意識が凝縮されています。アートワークにも当時気鋭の画家 加山又造氏をはじめ篠田桃紅氏や栗辻博氏ら一流作家たちを剣持勇氏が招集。斬新なオリジナル作品が寄せられました。奇しくも剣持氏の遺作となったインペリアルスイートルーム。この部屋はまさに1970年代の日本のモダンアートを代表する作品そのものであるのです。



本件に関するお問合せ先：

株式会社京王プラザホテル 営業戦略室 企画広報 斎藤 潤子・大塚 智生・小田 力・石川 綾子
 〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

Tel 03-5322-8010 Fax 03-3346-2479

<http://www.keioplaza.co.jp>